

野田川の願い実現にいつも力いっぱい

誠実
信頼
行動力

の
むら
野村

町会候補
しょう
はち

■現在 町会議員、産業建設環境常任委員長。党与謝地区副委員長。宮津与謝社会保障推進協議会事務局長、住民と歩む与謝野町の会事務局長

■略歴 1953年、三河内生まれ。宮津高卒、近畿大学Ⅱ部理工学部中退。自営・織物業。1991年初当選。以後7期27年、野田川・与謝野町会議員。◇三河内879番地

お約束

日本共産党

3つの町民負担軽減でくらし応援

- ①水道料金の引き下げ、基本料金の減免
- ②国保料の引き下げ、18歳未満の均等割について全額免除。後期高齢者医療・介護保険料の引き下げ
- ③中学校給食の無償化

- 修学旅行や1・2歳児の保育料無償化
- 浸水河川の改修など災害対策の充実
- 補聴器購入への助成。通院や買い物に便利な公共交通に
- 住宅改修助成制度を恒常的制度にし、経済活性化
- 住民の手続きがどの役場・庁舎でもできるよう改善
- ユースセンターの再開

証紙

戦争する国づくりストップ。平和の願いを与謝野から

頒布責任者 近江容子 与謝野
町字石川 906-26 印刷者
(株)きかんしコム 京都市南区
久世殿城町 330-1

町政を
変える

日本共産党
町会候補

あわてた庁舎建設に待った！
ハコものよりくらし優先

野村 しょうはち



現町政 12 年は、大型事業優先で住民のくらし・福祉の願いに背を向ける町政でした。今度は、住民合意もないのに、「庁舎建設」を言い出しました。野村しょうはちは、あわてた庁舎建設に待ったをかけます。ハコものより、住民の負担軽減を第一に、子育て、くらし・福祉応援の町政に変える時です。日本共産党の野村しょうはちは、みなさんの願い実現に力いっぱいがんばります。

住民には負担をおしつける一方で大型事業を強行

現町政をきびしく追及

現町政は、野田川地域の公共施設統廃合、野田川認定こども園建設など住民の声を軽視して強行。さらに小学校や中学校の統合で新校舎建設、新庁舎建設まで言い出す一方で上下水道料金値上げ、国保税の連続値上げ、学童保育利用料などの値上げしました。

日本共産党は、ハコもの優先、無計画な財政運営で財政悪化を招き、そのツケを住民にまわす、現町政をきびしく追及。問題の多い岩屋小を解体しての給食センター建設にはキッパリ反対しました。

多くの提案で町政を動かし 住民の願いを実現

18 歳までの医療費無料化、下水道料金値上げの延期

野村しょうはちは、住民の声を町政に届け、共同での予算修正を含め、多くの提案をし、みなさんと一緒に実現させることができました。

○実現した主なもの 下水道料金値上げの延期 / 18 才までの医療費無料化 / ウィル改修補助金 120 万円の追加交付 / 学童保育施設の新設、待機児ゼロ、ネット利用の改善 / 学校トイレに生理用品の設置 / クアハウスの売却をやめさせる / 通学のバスダイヤの改正など

4・5

府政
転換

憲法を土台に
国にモノ言い

府民にトコトン寄り添う府政を